



マレーシア人は略称好き!?

1. はじめに

日本では、「パソコン」や「スマホ」といった略称を日常的に目にします。あまりにも慣れてしまうと、略称かどうかすらわからなくなります。自分が気づかないうちに、略称で会話していることも多々あるでしょう。

実は、マレーシア人は、日本人と同等、いやそれ以上に略称にどっぷり浸かっています。本稿では、マレーシアの略称を紹介します。「やりすぎ!？」と思われるくらい略称が流通しています。

2. KL

「KL」は、クアラルンプール (Kuala Lumpur) の略称。筆者は定期的にKLを訪問していますが、今思えば、マレーシア人と話していて、「クアラルンプール」という単語を聞いた記憶がありません。「東京」のことを「TK」や「TKY」なんて言わない（言っても通じない）と思いますが、マレーシア人はKLです。「クアラルンプール」なんて律儀に言っていたら、かえって引かれてしまうかも!?

3. KLIA

「KLIA」は、空港の略称。正式名称は、Kuala Lumpur International Airport (クアラルンプール国際空港)。空港名を略称にするのはよくあることかもしれませんが、KLIAに限って言えば、ほとんど正式名称として使われています。というのも、空港と市内を往復する特急列車は「KLIA Ekspres」、空港の駅名は「KLIA」、高速道路の標識は「KLIA」、成田空港で言うところの空港第2

ビルは「KLIA 2」です。日本で成田空港のことをNRT等と標記しているのはフライトチケットくらいですよ。



【写真1】 KLIA Ekspresの案内

4. KL SentralとKLCC

KLの中心に位置するターミナルエリアはその名も「KL Sentral」。「Central」ではなく「Sentral」です。KL Sentralはビジネス・観光・生活の全てにおいてハブとなる場所です。企業のオフィス、ショッピングエリア、



【写真2】 KL Sentral駅の案内板

ホテル等、全てのインフラが集中しています。KLを訪れたら必ず立ち寄る場所と言えます。

KLCCの正式名称は正直知りませんでした(ウェブで調べたところ、「KL City Center」と言うそうです)。何度かマレーシアに足を運んでいると、KLCCはもうKLCCとして認知するようになります。日本でも有名なツインタワー(正式名称は、ペトロナスツインタワー)。これはKLCCの駅の真上にそびえ立っています。KLCCには、日系のスーパーが入ったショッピングモールもあり、観光客で賑わっています。



【写真3】KLCC駅の案内版

5. UPM

2014年にKLで開催された特許系のセミナーに参加したのですが、その会場になったのがUPM。大学です。正式名称は、Universiti Putra Malaysia。マレーシアの大学の敷地は巨大で、タクシーの運転手に「UPM」と告げても、目的の建物には辿り着けません。セミナー会場は、Pejabat Timbalan Naib Canselorという事務局の建屋だったのですが、初日の朝にタクシーで移動する際、

私「UPM, PTNC, please.」

運転手「PTNC? What's???'」

というやり取りを毎朝繰り返していました。

聞き返されても、正式名称は分からなかったのですが…。



【写真4】セミナー会場の看板

6. MyIPO

本誌は知財業界紙ですから、これは外せません。ご存じの方も多いと思いますが、「MyIPO」と書いて「マイポ」と読みます。禁煙グッズのようなこの略称は、マレーシア特許庁のことで、「マレーシア」のところを「My」とするあたり、洒落っ気がきいています。



【写真5】マレーシア特許庁の入口

7. 結び

略称大好きなマレーシア。旅行や仕事でKLを訪れる機会があれば、略称を探して街歩きをしてみても面白いかもしれません。

著者紹介

木本 大介 (きもと・だいすけ)

日本弁理士、GIP東京所属。1977年神奈川県生まれ。専門は通信、電気、ソフトウェア。2005年弁理士試験合格。企業知財部3年、特許事務所7年の経験を経て2013年7月より現職。モットーは、「正しいモノより楽しいモノを」。

<http://www.giplaw-tokyo.co.jp/jp/>